

平成27年10月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成27年10月29日(木) 開 会 午後 4時30分
閉 会 午後 5時45分

2. 会 場 茅野市役所 8階大ホール

3. 出席委員	教育委員長	吉田 一	同職務代理者	小林 智
	教育委員	小林 俊恵	教育委員	小平 光子
	教育長	牛山 英彦		
出席者	生涯学習部長	木川 亮一	こども部長	牛山 洋治
	学校教育課長	平出 信次	文化財課長	守矢 昌文
	スポーツ健康課長	鋤柄 敏	公民館長	矢島喜久雄
	幼児教育課長	牛山津人志	こども課長	両角 勝元
	生涯学習課長	小島 吉彦	生涯学習係長	上原 平二
	教育総務係長	渡辺 雄一	こども係長	今井 明彦
	教育総務主事	丸茂 直樹		

4. 傍聴者 3 名

10月定例会教育委員会次第

日 時 平成27年10月29日（木）午後4時30分から

場 所 市役所 8階 大ホール

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育委員長報告

第2号 教育長報告

第3号 各課からの報告

(1) 学校教育課

(2) こども課

(3) 幼児教育課

(4) 生涯学習課

(5) 公民館

(6) 文化財課

(7) スポーツ健康課

第4号 教育委員会共催後援

(1) 生涯学習課

(2) スポーツ健康課

4 議 案

今回はありません。

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

(1) 市議会9月定例会議決結果について

(2) 中学生台湾交流事業について

7 閉 会

次回定例会教育委員会日程について

11月25日（水）午前9時30分 「議会棟 大会議室」

（事務局会議11月17日（火）午前10時 「401会議室」）

吉田委員長

只今から、10月定例教育委員会を開催します。

まず、前月の9月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

それでは報告事項第1号、教育委員長報告についてお願いします。

9日に県教委と市教委の連絡会がありました。人事関係ということで、年度末人事について話題になりました。各市町村の人事面談だということで教育長から茅野市の現状をしっかりと説明していただきまして、対応のお願いを申し立てまいりました。それ以外に労働時間の短縮や非違行為の根絶などの話になりました。長野県ではまだまだ大変なようで、茅野市も例外であるとは言えないということで、さらに先生方にもお願いをしていかなければいけないと思っております。

8日と15日に教育課程研究協議会がありました。委員それぞれがそれぞれの中学校、小学校へ行って挨拶し授業を見させていただきました。今までの一斉授業の形ではなくて、共同的な学びということを意識した小グループでの授業が多くなっておりました。十数年前に、小学校、中学校へ行ったときには、グループで授業を行っていましたが、実際に学習を行っているのは一人か二人で、他はいいですと言って休んでいるというような形でしたが、今の小グループでの授業は、それとはまったく別の形で行われていました。グループの中で一人一人がどのように主体的に学びに関わり、周りの人と関わっていくかということを考えているということで、これから先が楽しみです。

23日に長峰中学校で茅野市授業改善教育研究会が行われました。この研究会でも、先ほど言った小グループでの授業が行われていました。佐藤学先生のご指導をいただくということもあり、長峰中学校の先生方がしっかりと授業を展開していただき、それを見る方もその後での話し合いというのも、それぞれ教員自身が小グループになり、話をして自分たちの勉強もしていたということが印象的でした。地元の高校である茅野高校が学校を休みにしまして、茅野市の中の小、中学校、高校が共同的な学び合いというものに興味を示して、そういうものによって子どもたち一人一人を伸ばしていこうという流れになっている、これは非常にありがたいことだなと思いました。

16日に市町村教委の研修会が行われました。教育長を含めた教育委員全員と参加いたしました。全体中では大槻達也という国立教育政策研究所の所長が講演をしてくださりました。課題、現状を具体的な数値を挙げて説明してくださいました。私も勉強しなければいけないという気持ちになりました。まだ一つ一つの資料を見ながら勉強をするという

ころまでいっていない面もあると思いますので、各委員で、勉強して話し合っていかなければいけない課題かなと思いました。分散会では4つに分かれ、各市町村の取り組みというものがあり、意見を述べるという形でした。これについては各委員から後ほど説明、感想を言っていただきます。

11日の市民音楽祭と、24日の市民芸術に参加していきました。参加者の年齢が上がってきているという話もありましたが、その方たちが一生懸命取り組んだものを見させていただきました。今のお話にもありましたように、若い人がご多忙であるということと、学校の方でもいろいろな行事があって参加できないということもあり、少し構造的なものも見直していかなければいけないと思いました。

ここからは私事になりますが、120周年記念ということで、清陵高校で講演がありました。講師は名古屋大学の天野さんという青色発光ダイオードを作り、昨年度ノーベル物理学賞を受けた人です。講話の時間は30分から40分という短い時間でしたが、話の内容は専門的なことでなく、子どもたちが分からないことがないように配慮した講演でした。子どもの頃にはたくさんの本を読んだことや、人のためになるようなことをしたいということを常に持っていたとか、青色発光ダイオードはもう無理だと多くの人がいたが、まだなにか可能性があるのではないかと考え続けたということ、というような今後学ぶ人たちに配慮した講演の内容でした。また天野先生は話が苦手ということで、40分しか講話をしなかったんですが、残りの時間を、子どもたちを壇上に上げて質問応答を行っており、とても印象的でした。子どもたちにいろんな人たちの話を聞かせるということも考えながら、その時の講師を選んでいかなければいけないということを感じました。

また10月16日から1年間長野県都市教育委員会連絡協議会の事務局を仰せつかりましたので学校教育課の教育総務係長、1年間よろしく願いいたします。

その他については資料の通りです。それでは分散会についての意見を各委員の方からお願いいたします。

小林（智）委員

私が行った分散会では、直接教育委員会に関わるような部分ではないところもありましたが、災害があった時に学校が避難所になったケースがありますが、それが夜間の時などに実際先生たちが来れるか、という疑問もあり、昨年諏訪で行われた花火大会の時に雨が降って電車が止まり、帰宅困難者が出たということですが、近くの学校で近くにいる先生が来て学校を開放してくれたということがありましたが、教育委員会の職員や市の職員も学校にどこになにがあるか分からないということで、そうなった時に先生でない分からないという部分があって、そういったときの災害の時にはどうしたらいいかという話し合いでした。これは教育委員会だけではなく、茅野市全体で考え、準備をしなければと感じました。

小林（俊）委員

私が行った分散会では、泉野のように学校の子どもが少なくなって、地域とすごく関わっているのだけれども、その子たちが成長して出て行ってしまうと、そこに戻ってこないという話の分散会でした。そういう子どもたちをどういう風に故郷に戻していくかということとをみんなで考えなければということでした。

小平委員

私が行った分散会では、東信の小学校でしたが、教育委員会が中心になって動いて、やるぞという気持ちと、各小中学校の先生のやる気を出させるにはどうしたらいいかを考えた方がいらっしやいました。各学校の教員達のやる気を出すために、市から予算をとり教育委員会の働きで、市の方で使い方を指定せずに校長先生の裁量、各職員で話し合って決め、1校あたり50万円の金額の使い道を考えるという話でした。それと似たようなことを箕輪町でやっていて、いい影響が子どもたちにも出ているということでした。先生方がやる気を出せば、子どもたちはついてくるという話でした。保育園ではやはりこども自体の運動能力が低下していて、幼い頃に体を動かさないと手を使わずにおでこから転ぶというようなことが多いので、これも予算の関係ですが小さいころから市として、スポーツに力を入れている方を各保育園にお呼びして、子どもたちを運動させ活発にしていく取り組みをしているという話でした。

吉田委員長

次に報告事項第2号、教育長からの報告をお願いします。

教育長

私からは3つの事案について報告させていただきます。伊那市で長野県市町村教育委員会研修総会の話がありましたのでそこから説明させていただきました。午前中は、委員長の話にもありましたように大槻さんからこれからの教育はどういうところに力を入れていかなければならないかをお話していただきましたが、私は聞かせていただいて、最後はどのように「生きる力」を育むかということに尽きるかなと思いました。現代の複雑化した社会の中で子どもたちが生き残っていくには、私たち教える側の人間が意識していかなければいけないことは、「生きる力」育成を意識して教育行政をやっていかなければいけないと思いました。非常にたくさんのデータからそういったことをお話していただきました。委員長もおっしゃるように、私たちも勉強していかなければならないと思いました。分散会では、自然と地域の恩恵を体いっぱい受け、心豊かに自らの人生をたくましく切り開いていける生きる力を持った子どもの育成というテーマの分散会でした。このテーマは茅野市と同じように切り開いていくとか、生きる力だとかを意識した教育行政をなさっているなと思いました。このテーマを発表したのは高山村でしたが、高山村というのは一村、

一小、一中という村です。話を聞いていて思ったことは、高山村教育委員会は地域の子どもは地域で育てることを非常に意識して行っているということを感じました。そのことを具体的にどのようにやっているかという、生涯学習的な発想で地域の子どもたちを育てることを実施していると思いました。また、学校現場の先生方の手を煩わせないということ意識していると感じました。地域の子どもは地域で育てるということで、20種類の行事、講座をやっていますが、例えば植物観察会、夜の天文を望遠鏡で覗く、子どもたちの運動能力を伸ばすという意味での講座、高山村の伝統の料理を作ることなどが行われていますが、それを高山村の教育委員会だけではなく、地域の人たちの専門家をお呼びして行うということと、高山村の村職員を総動員して行うなど、地域の子どもを地域で育てるということを本気になってやっている、考えているということを感じました。もう1つやっていることは、高山村教育委員会では、子どもたちの学力向上、全国学力テストを非常に意識してやっていると感じました。夏休み中に「高山っ子学力向上サポート事業」というものを夏休みを中心に行っているそうです。それは地域の教員経験のある人を複数集めて3日間9時から12時まで行い、冬休みも2日間9時から12時までやっているそうです。小学生は6年生、中学生は3年生を対象に行っているそうです。特に小学生には国語、算数という教科においては、基礎クラスと応用クラスに分かれて、基礎クラスはクリア問題、応用クラスはチャレンジ問題というような問題を夏3日間と冬2日間行うそうです。中学生は国語、数学、英語を長野県高校入試問題を中心に基礎力と思考力を鍛える、そういう勉強をやっているということを聞きました。私は行政が行うというより、地域住民の方の要望により行政側が押されて、こういう形でやらざるを得なかったというニュアンスを感じました。

23日の茅野市授業改善教育研究会がありました。この研究会は茅野市の学校教育が大きく転換する日、重要な研究会だったと思いました。なぜかという、今までの一斉授業という、教師が一方的に教えるという授業から、子どもたちが自ら学ぶという授業に大きく転換するということを目指す研究会であり、その意図を長峰中学校の先生方が本気になって、その意図にふさわしい授業提供をしてくださったということで、茅野市教育の重要な日だったなと思いました。佐藤学先生の講演の中で、子どもたちが学ぶという授業をしなければだめですよ、学ぶとはどういうことなのかを詳しく話してくれましたが子どもだけが学ぶのではなくて、教師自身も子どもから学ぶという基本的な姿勢もなければ大きな授業改善はできないという話でした。長峰中学校の先生方は、1時間目は全クラス授業公開しましたが、2時間目に1つのクラスだけが授業公開をして、茅野市の全ての先生方、外部からの先生方が体育館に集まって見せていただきましたが、授業そのものは子どもたちがそれぞれ一生懸命自分の考え方を約25分から30分考え続けるという内容でしたが、書き続けるという行為を30分間誰一人、書くのをやめず、書き続けたという姿に多くの先生方が心に響いたのではないかなと思います。子どもたちは考えるということ、これを一生懸命この授業で表現しているというように受け止められました。3時間目には長峰中

学校の先生方ご自身が、2時間目の授業についてどういうことを学んだのかということを考える授業研究会を行い、さらにその様子を他の学校の先生方が外からさらに聞かせてもらうという研究会を行いました。普段はこういう研究会は滅多に行えなく、佐藤学先生が独自に関わっている学校では行っているそうですが、これが非常にありがたかったと思いました。長峰中の先生方が発言していた共通の事実は私が見ていた子どもは、これこれこうでしたという、書き続けていた事実、様子を伝えられて、よってこういうことを授業から学ばせていただきました、最後に授業を行った先生にありがとうございましたと言っていました。「ありがとうございました」という言葉は学ばせていただいたという心が先生方にあったからこそ、その言葉が発せられたと思います。これが、佐藤学先生がそういう姿勢でなければダメですよ、と言われた1番の意図だと思います。つまり違う言い方をすれば今日の授業はあれがよかった、ここがダメだったという授業評論をやったのではだめです、ということを佐藤先生は私たちに訴えたのではないかなと思います。そういう意味で茅野市教育の大きな転換になったのではないかなと思います。

27日には都市教育長会議というのが行われまして、学校教育課長と出席してきました。現代の人口問題、少子高齢化を迎えて、各自治体はどういう教育行政を行わなければいけないか、どういう施策を掲げなければいけないのかを話し合いました。私は各自治体の話を聞いて多くの自治体が悩んでいることは人口減少と少子高齢化により学校統合ということを考えざるをえない状況になっているが、どういう風に自分たちの自治体は乗り越えていったらいいかという話でした。話を聞いていて多くの自治体があと10年以内には統合を考えざるをえない自治体がほとんどでした。この統合問題ほど地域住民にとっては関心が高く難しい問題はない、ということでした。最近では中野市が統合問題で悩んでいるということですが、中野市では3年間、住民の方に統合させてくださいと訴えてきましたが、全然結論が出なく、地域住民は反対ということだそうです。よって統合まではあと数年かかりそうですと言っておられました。なぜ統合するのかをどうやって住民に訴えるかですが、教育委員会はお金を持っておりませんので教育の成果、効果でしか訴える根拠はありません。統合して人数が増えた方がより教育の効果が上がるということしか訴えることができないという意味のことを仰っている自治体の方が多くいました。教育の成果や効果ということと同時に、一人一人の子どもが大事にされるにはどうしたらいいかという視点で考えなければいけないということを私は強く感じました。多くの自治体がそういう立場に立てば、通学区については問題にならない、多くの自治体は通学区については問題にはしていませんでした。私はこれほど今日教育について各自治体が切羽詰まった問題が統合問題かと意識させられ、茅野市もいずれは考えなければいけない状況に立たされるだろうと思いました。現時点においては、茅野市はまだまだと思いました。自治体によっては全校合わせても30人以下、20人以下という学校がいくつかあるというような状況であり、統合を考えざるをえないということですが、茅野市ではまだ80人をちょっと切る学校があるというだけで、まだ悲壮感はないという感想を持ちました。

吉田委員長

次に報告事項第3号、各課からの報告をお願いします。

学校教育課長

1日から4日にかけて中学生台湾交流事業ということで各中学校6名、24人が高雄市へ行ってきます。後ほど詳細についてはお知らせします。

5日には小中高生徒指導連絡協議会が諏訪教育会館で行われますので、教育長、育委員長の出席をお願いいたします。

17日に県教委と市教委の連絡会が行われます。教育長、教育委員長のご出席をお願いいたします。

18日に第2回代議員会が行われます。教育委員長のご出席をお願いいたします。

21日には東部中学校創立30周年記念事業が行われます。委員長、教育長のご出席をお願いいたします。

25日に定例教育委員会が行われます。教育長、教育委員長のご出席をお願いいたします。

29日には玉川小学校合唱団がSBCコンクールで優秀な成績を修めたということで東京都江戸川区総合文化センターで行われる上位大会へ出場します。

その他につきましては資料の通りです。

こども課長

2日には子ども・若者育成支援強調月間街頭啓発が行われます。市内4中学校、2高等学校で行われます。教育長、教育委員のご参加をお願いいたします。

3日には、僕らの未来プロジェクトということで、初めてではありますが、ぼくらのプレイパークが弓振公園で行われます。

14日には平成27年度長野県青少年健全育成県民大会が行われます。育成会、青少年育成委員がご参集の中、県民大会に参加したいと思っております。

29日には愛してるぜ茅野ミーティング2015が開かれます。午前と午後1日かけて行うことを予定しております。教育長、教育委員のご出席をお願いいたします。どんぐり通信を配布しておりますので、ご覧下さい。あとは資料のとおりです。

幼児教育課

2日に幼児小連携教育研究協議会が開かれます。午前9時35分から公開授業、午後3時50分からまとめの会となっております。またお手元に当日の資料を配布しておりますので、ご参照ください。

13日にみどりヶ丘保育園で公開保育が行われます。午前9時からとなっておりますが、初めの会を8時30分から行う予定となっております。ご都合つくようでしたら委員のご

出席をお願いいたします。

また本日お配りした1番後の資料ですが、幼保小連携教育の挑戦という12月発刊予定の書籍の案内になります。

その他につきましては資料の通りです。

生涯学習課長

6日によろこ先生公開授業ということで、今年度の研究推進校である泉野で2回目の公開授業になります。同じく6日の夜に月夜のおはなし会ということで、昔から伝わるお話や紙芝居を地元の方と聞いて学ぶことができます。

9日には小泉山体験の森創造委員会提言会が行われます。大会議室で意見交換会を市長と行います。

15日には多留姫文学自然の里 餅つき大会を行います。多留姫文学自然の里 神田で収穫されたもち米で餅つきを行い収穫を祝います。またもち米の販売も行っております。

18日には第9回茅野市小中高校生調べ学習コンクール表彰式を1階ロビーで行います。本年度は小学生877点、中学生215点の応募がありました。さらに10月20日に審査会を行いまして、入賞が24点、入選が小学生39点、中学生14点となっております。作品展は16日から2週間を予定しております。

23日には茅野市民館開館10周年記念セレモニーを行います。茅野市民館10周年ということで、19日から23日まで縄文アートプロジェクトということで作品の展示が行われます。22日と23日には舞台公演「となりの縄文人」が予定されています。

26日には永明中学校で読書教育指定校研修ということで読書教育講演会と読書研究授業が開かれます。

28日には絵本を楽しむ会ということで講師の山口マオさんをお呼びしてワークショップを開きます。募集人員60名で絵を描きます。

次に図書館行事につきましては、通常どおりの事業となっております。また展示では、「本を大切に」と「JR 茅野駅開業110周年記念展示」が行われます。

家庭教育センターにつきましては、通常通りの講座、事業となっております。

公民館長

今月は芸術祭がありました。11日に行われた音楽祭では20団体、420名が発表してくださいました。音楽を愛するみなさんの演奏に胸が熱くなりました。18日には芸能祭が開催され33団体、500名がステージに花を咲かせてくれました。保育園児からご高齢の方までの、幅広い年齢層の方が多彩の持ち味を披露してくださいました。24日から昨日まで文化センターにて作品の展示を行いました。市民の方から782点の作品を出展していただきました。この期間を楽しみにしてくださっている、市民の方、デイサービスの方々にご覧いただきました。

1 1月の予定になります。

5日には第29回の姉妹都市文化交流会が行われます。今年は伊勢原市の中央公民館で行われます。

1日には豊平、金沢の文化祭、湖東の公民館祭りが行われます。

17日からは高齢者大学地区学部入学式が開始されます。

その他については資料の通りです。

文化財課

まず考古館の予定になります。

7日、8日、22日に縄文教室ということで「縄文あんぎんでマフラーを編んでみよう」と「縄文風雨行燈を作ろう」を開催します。

14日には尖石縄文検定初級ということで、現在受付中です。

次に総合博物館、神長官守矢資料館の行事予定です。

現在開催中の「宮崎龍介・柳原白蓮と蓼科」の企画展が11月23日まで行われます。その他にも記載の通り、たくさんの企画展、講座などが開かれます。

スポーツ健康課長

7日に平成27年度第9回スポーツ体験・実践発表会が、やつがねホールで行われます。教育委員の出席をお願いいたします。

23日には国際スケートセンターが開場されます。教育長のご出席をお願いいたします。

その他については資料の通りです。

吉田委員長

行事予定に、教育委員、委員長、教育長が出席するという内容の備考欄がありますが、記載されていない行事については参加しなくてもよろしいということでしょうか。たとえば生涯学習課から市民館開館10周年記念の参加の案内が来ていますが、これについては参加した方がいいということでしょうか。

生涯学習課

市民館開館10周年記念セレモニーでは入場料がかかるため、備考欄に書かず、こういう行事があるということで案内を送付させていただきました。

吉田委員長

次に報告事項第4号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

生涯学習課長

20件の申請がありまして、要領に基づき審査して、許可しました。

スポーツ健康課長

5件の申請がありまして、要領に基づき審査して、許可しました。

吉田委員長

議案、検討事項については、今回はございません。

次にその他1「市議会9月定例会議決結果について」両部長から説明をお願いいたします。

生涯学習部長

その他1（資料説明）

吉田委員長

以上の説明通りですのでご承知おきください。

次にその他2「中学生台湾交流事業について」学校教育課長からお願いいたします。

学校教育課長

その他2（資料説明）

吉田委員長

短い中で盛りだくさんな内容になっていますが生徒たちが事故なく、目標を達成できますようよろしくお願いいたします。

次回定例教育委員会ですが、11月25日水曜日午前9時30分時から、事前を午前9時00分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で10月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成27年11月25日

茅野市教育委員会 委 員 長

職 務 代 理 者

委 員

委 員

教 育 長

こ ども 部 長